

令和元年版

食育白書

「食」の知識と
選択する力を
養う食育を目指して



農林水産省 編

事例

カレーライス畑～お米から野菜、全ての食材を子供たち自身で育て、
収穫、調理、そして皆で食べる～

(平成30(2018)年度「第2回食育活動表彰」農林水産大臣賞受賞)

株式会社ふるさとファーム(北海道)

株式会社ふるさとファームでは、札幌市近郊の児童養護施設等の小学生を対象とし、年間を通して自然の厳しさや食の大切さを学ぶための農業体験プログラムを提供しています。

プログラムに参加する子供たちは、5月から10月までの間、毎月1、2回ファームを訪れ、お米や、カレーライスの具材となる野菜を育てます。6月の田植・野菜の植付けを始めとして、草むしりなどのお世話もしつつ、野菜の収穫、稲刈り、お米の脱穀・精米まで行います。畑仕事の後には、収穫した季節ごとの野菜を子供たち自身で調理して食べ、採れたての旬の野菜を味わい、そのおいしさを体感します。シーズン最後には、皆で育てたお米・野菜でカレーライスを作り、一緒に食べる収穫祭を開催します。

新規参加者とリピーターを半々とし、小学校卒業までの複数年継続して参加できるようにすることで、子供たちが栽培方法等を学び、考え、より良い方法を試みるプロセスも経験できる活動内容となっています。

平成29(2017)年度からは、子供たちが栽培した野菜を子供たち自身で販売する「こどもマルシェ」を開催し、農業の経済的側面も体験学習できる食育活動を実施しています。また、東京の日比谷公園で毎年開催される「ファーマーズ&キッズフェスタ」に出展し、札幌の子供たちが育てたお米の稲わらで、クリスマスやお正月に飾る“リース”作りを体験できるワークショップを開催しています。



カレーライス畑



玉ねぎの植付け



採れたての野菜でピザ作り



こどもマルシェ

第5章

生産者と消費者との交流の促進、環境と調和のとれた農林漁業の活性化等